

a 気候

\_\_\_ …大気の状態、大気現象←\_\_\_\_ エネルギー 大気圏・水圏・岩石圏  
 \_\_\_ …大気の総合的・平均的状態 (気圏)

\_\_\_\_\_ ↑ …\_\_\_\_ · \_\_\_\_ · \_\_ など

\_\_\_\_\_ …気候要素を決定する\_\_ 度・\_\_ 度・地形・海流・隔海度など

b 気温

緯度や高度などによって影響される

気温の遞減率 100mにつき\_\_\_\_ °C下がる

(富士山頂上 (3776m) では0mに比較して \_\_ . \_\_ °C低下する)

電卓等使用

\_\_\_ …一日の寒暖の差、一日の最高気温と最低気温の差

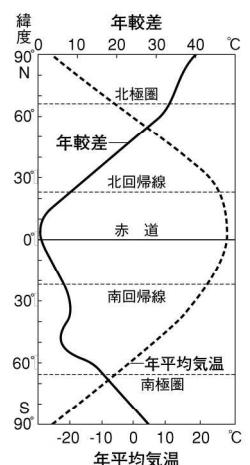
\_\_\_ …一年の寒暖の差、

最暖月平均気温と最寒月平均気温の差

大陸と海洋では、大陸の方が比熱が（小さい・大きい）ので、大陸は（暖まりやすく・暖まりにくく）、（冷めやすい・冷めにくい）。よって、大陸内部は年較差が（小さい・大きい）。

これを\_\_\_\_ 性気候という。海岸部では逆に年較差は（小さい・大きい）、\_\_\_\_ 性気候となる。

その他、年較差は（高緯度・低緯度）ほど大きい。また乾燥気候の年較差は（小さい・大きい）。



### c 大気大循環と風

#### 恒常風

風は\_\_ 気圧から\_\_ 気圧に吹くように、風は気圧差によって生じるが、地球の自転によって偏向され、北半球では進行方向に向かって、(右・左) に、南半球では (右・左) に傾く。・コリオリの力

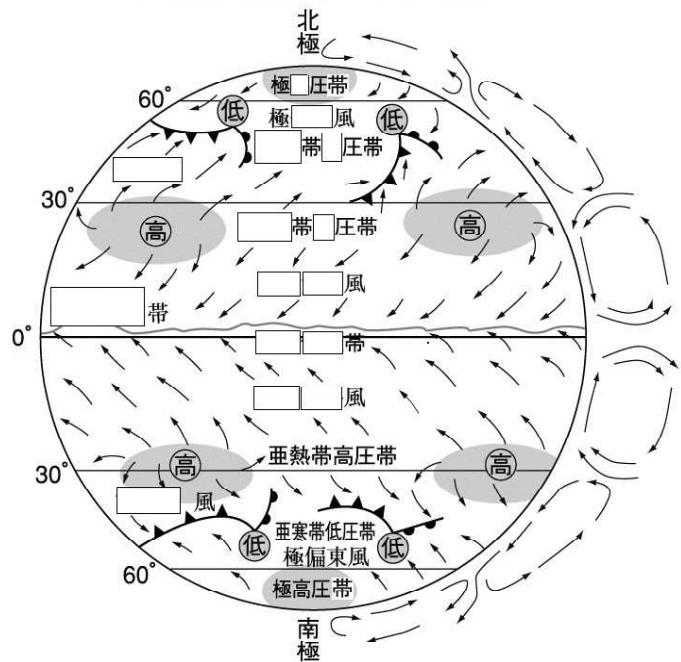
気温が高い赤道付近では、大気が温められ、\_\_ 気流が生じ、\_\_ 気圧となる。(\_\_\_\_ 帯) 高空で冷やされた空気は下降気流となって地上に吹き下ろす。これが\_\_ ° ~ \_\_ ° 付近であり、\_\_\_\_ 帯と呼ばれる。(ちなみに北緯23.4 ° 付近は\_\_\_\_ 線)

亜熱帯高圧帯から赤道低圧帯に向かって\_\_ 風が吹き、北半球では\_\_ (方位) の風となる。

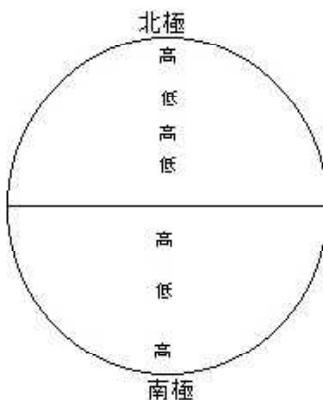
亜熱帯高圧帯から高緯度側に吹く風を\_\_ 風 (北半球では、方位は\_\_ ) と呼ぶ。気温が低い極付近は\_\_ 帯となり、\_\_ 風が吹き出し、偏西風と衝突して上昇気流が生じ、\_\_ (高緯度) \_\_ 帯と呼ばれる。

貿易風・偏西風・極偏東風は、季節によって吹く場所が異なるが、一年中同じ方向に吹いているので、\_\_ 風という。

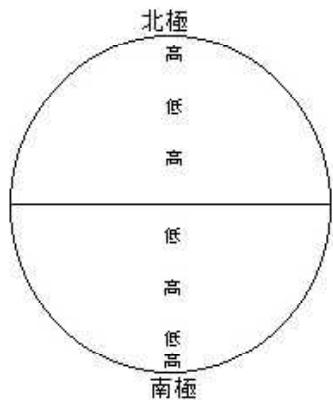
## 大気大循環の模式図



(1月・7月)



(1月・7月)



## \_\_\_\_\_ 気流 (jet stream)

北半球の $30^{\circ}$  -  $40^{\circ}$  付近、高度8000-13000m (対流圏上層) に風速は100km/h位で冬は360km/h近くになる強い西風が吹く。冬は南に降り、強くなる。この蛇行が日本の異常気象をもたらす。亜熱帯ジェット ( $30^{\circ}$ ) と寒帯ジェット ( $40^{\circ}$ ) がある

## 季節風

恒常風に対し、季節で方向が変わる風を\_\_\_\_\_ 風 (\_\_\_\_\_ ) という。

夏、(大陸・海洋) から比熱が大きく低圧となる (大陸・海洋) へ

冬は (大陸・海洋) から比熱が小さく低圧となる (大陸・海洋) へ

インド付近では、夏の間\_\_\_\_\_ の風が、冬は\_\_\_\_\_ の風が吹き、

日本付近では 夏の間\_\_\_\_\_ の風が、冬は\_\_\_\_\_ の風

が吹く。

## 海陸風

昼間、\_\_\_\_\_ からの風、夜間\_\_\_\_\_ からの風。

気圧差がない時は\_\_\_\_\_ • \_\_\_\_\_

## 山谷風

昼間、\_\_\_\_\_ からの風、夜間\_\_\_\_\_ からの風。



## 地方風 (局地風) ..その地方独特の風、.. (デ) p. 9

\_\_\_\_\_ ..初夏東北地方、(太平洋・日本海) 側に\_\_\_\_\_ 気団から吹く  
北東の寒冷風

\_\_\_\_\_ ..本来は春先、スイスに吹く南の温暖乾燥風 やがて一般化して山越え  
の風が乾燥し高温となる現象を\_\_\_\_\_ 現象

\_\_\_\_\_ ..春~秋、イタリアにアフリカから吹く高温砂混じりの風、\_\_\_\_\_ を  
渡るため湿潤

\_\_\_\_\_ ..冬、ダルマティア海岸・イタリアに吹く北西の寒冷風

\_\_\_\_\_ ..冬・春、フランス地中海側に吹く寒冷な北風

\_\_\_\_\_ ..北米、冬の寒冷風。地吹雪になることも

他にハルマッタン・チヌーク (シヌーク、フェーン的な風春のロッキー山脈東側)

## d 降水

条件・水蒸気・ 気流・核

→多雨は・山地の (風上側・風下側) ・・インド海岸部 \_\_\_\_\_ 山脈の夏の雨  
↑ \_\_\_\_\_ 性降雨 \_\_\_\_\_ 山脈インド～ネパール・中国間

(海岸部・内陸部)・(高気圧・低気圧) の他、

\_\_\_\_\_ (熱帯亜熱帯の夏の午後の雨)・(暖流・寒流)付近  
・日本の夕立

\_\_\_\_\_ (暖かい気団と寒い気団がぶつかるところ (温暖 \_\_\_\_\_ ・寒冷 \_\_\_\_\_ ))

上の条件の逆は砂漠になりやすい

内陸性砂漠・ 砂漠 (中国モンゴル国境)・ \_\_\_\_\_ 砂漠中国西

— 高圧帶・ 帯高圧帶付近は少雨  
(部)

\_\_\_\_\_ 砂漠 (ナミビア)・ \_\_\_\_\_ 砂漠 (チリ北) は 寒流性砂漠  
↑ \_\_\_\_\_ 海流 ↑ \_\_\_\_\_ ・ ( \_\_\_\_\_ ) 海流による

アルゼンチン南部の \_\_\_\_\_ 台地は雨陰砂漠・ 風の風下側

## e 海洋と陸水

海洋・ 地球の表面積の ( ) 割を占め、水の ( ) % が海洋にある。  
平均水深は3795m 水半球と陸半球

3大洋・ ( ) 表面積の 46%、( ) 23%、( ) 20%

付属海・

地中海 (大陸に囲まれた海)

( ) ・・ユーラシア大陸・北米大陸に囲まれた

( ) ・・アフリカ・ヨーロッパ

( ) ・・北米・南米 他、バルト海・紅海など

沿海 (縁海) (列島や半島で囲まれた海)

( ) ・・ユーラシアと日本列島

( ) ・・ユーラシア・千島列島・カムチャツカ半島 など

( ) ・・水深130～200m以下 この上の島が陸島

( ) ・・上記の特に浅い部分、日本語では浅堆

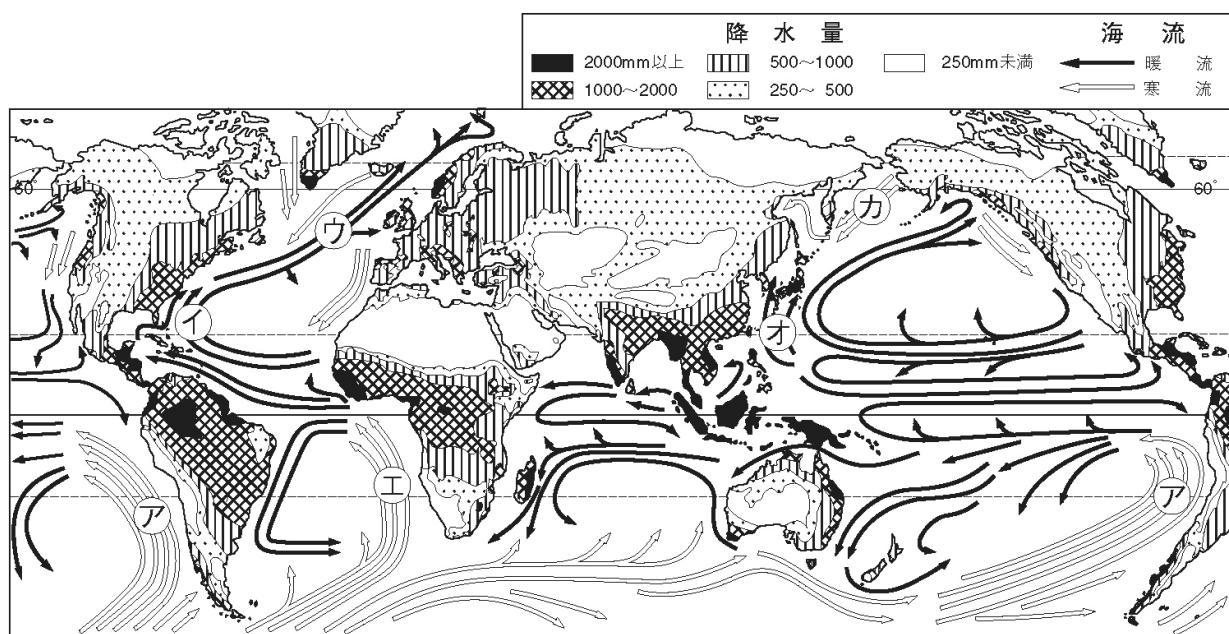
- ( ) …水深3000～6000 (4000～7000) m、海洋底とも、海の一番広い部分、この上の島が洋島 深海平原
- ( ) …水深6000 (7000) m以深の部分 他に大陸斜面・海盆

陸水…水の2.5%が陸にある。

- ( ) …陸水の大部分 3/4 (水の1.99%) がある  
陸地の表面積の11%を占める  
9割は ( ) に、1割弱が ( ) と北極海
- ( ) …水の0.75% 宙水・自由地下水・\_\_ 地下水  
上下の不透水層に加圧されている
- ( ) …水の0.017% 淡水湖・塩水湖・汽水湖、富栄養湖・貧栄養湖
- ( ) …水の0.0001% 河況係数=最大流量／最小流量

他に土壤中や水蒸気として

## f 海流



ア \_\_\_\_ (\_\_\_\_\_) 海流 イ \_\_\_\_ (\_\_\_\_\_) 海流

ウ \_\_\_\_ 海流 エ \_\_\_\_ 海流 才 \_\_\_\_ 海流 (\_\_\_\_)

カ \_\_\_\_ 海流 (\_\_\_\_)

北半球では、

暖流は（時計・反時計）回り（赤道付近では（東・西）流）、大洋西（大陸東岸）から離れると北（東・西）へ流れる←理由 \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ （・吹送流・表層流）

ヨーロッパなど緯度50°付近の大陸\_\_\_\_\_岸は、暖流の\_\_\_\_\_海流の影響と\_\_\_\_\_風の影響で高緯度の割に暖かく、年較差は小さい。これを\_\_\_\_\_岸気候という。

逆に大陸\_\_\_\_\_岸は、季節風の影響で冬は厳しく、夏は暑い。このため、年較差は大きく、これを\_\_\_\_\_岸気候という。

寒流は（時計・反時計）回り

南半球では、

暖流は（時計・反時計）回り（赤道付近では（東・西）流）、大洋西（大陸東岸）から離れると北（東・西）へ流れる）。寒流は（時計・反時計）回り

深層海流・・深海底を流れる緩やかな流れ 1~10cm/s程度

\_\_\_\_\_・・海底から海面への流れ

南米ペルー・エクアドル沖合が有名

栄養塩（NPK）が豊富で、好漁場となりやすい

他に補流など